

柿の木台地区 地域緑化計画書

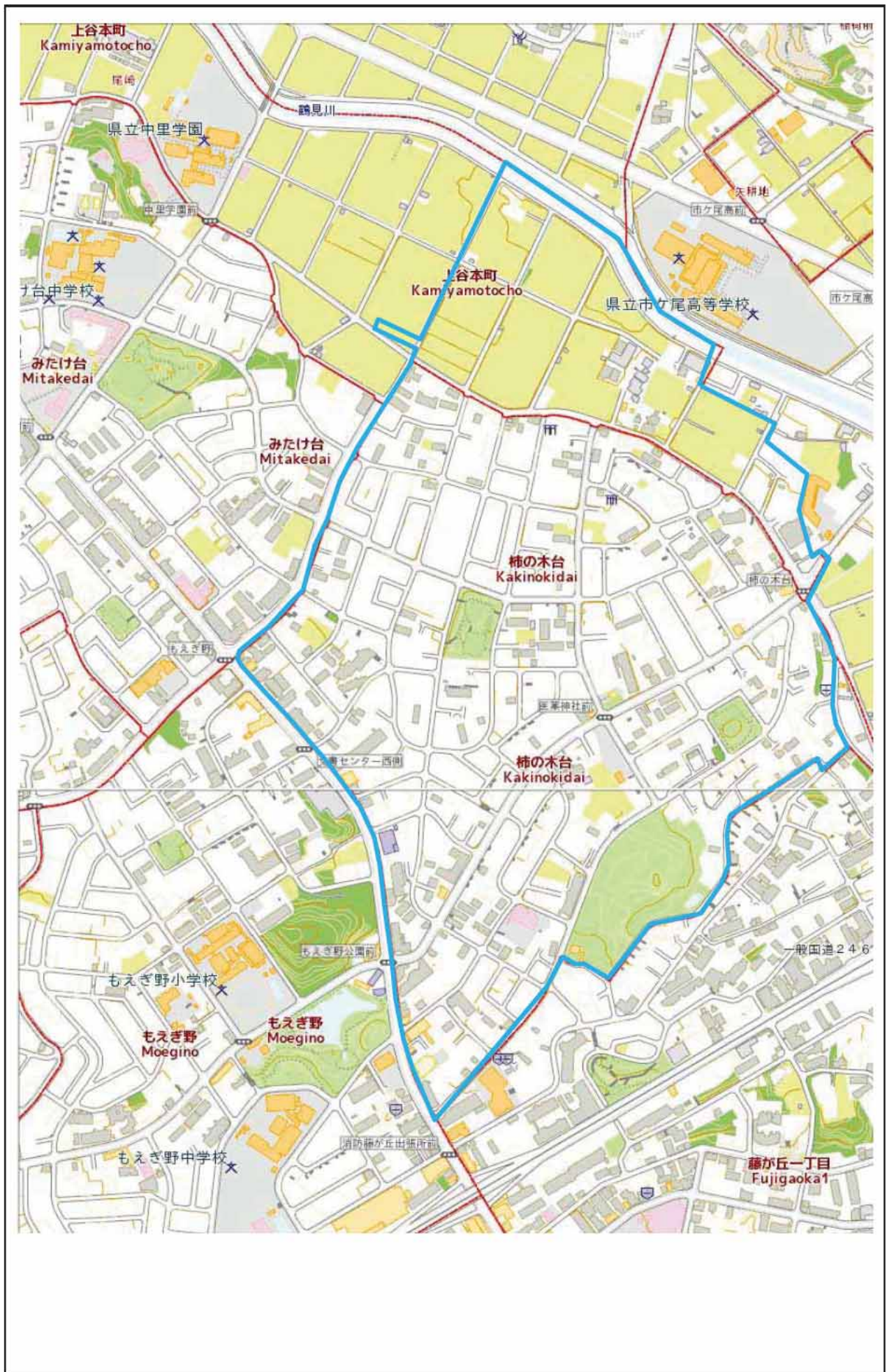
計画名：土づくりは、ひとづくり、まちづくり

推進団体名：やもと農塾



この地域緑化計画書は、公開します。

地区の範囲



<p>計画期間</p>	<p>平成 26 年度 ～ 平成 28 年度</p>
<p>計画概要</p>	<p>柿の木台の世帯数は 2,348 戸、人口は 5,258 人で、65 歳以上の人は 22.5%（青葉区平均 18.2%）で独居暮らしの人も増えています。5 年後には 4 人に一人が高齢者と予想されています。一方、ボランティアに対する理解の深い方も多数住んでおります。『地域緑のまちづくり』は、人間の営みの原点ともいえる『土』を媒体として、花、木をツールにあらゆる年代のよりよいコミュニケーションの構築と健康作りを目標にします。また、地域の人々が『歩きたくなるような、歩いて楽しいまち並みの柿の木台』となるように緑化を目指します。具体的には、①堆肥の自作（家庭の生ごみ、街路樹の落葉を利用）を通じて地域の美化活動と自然循環型土づくり②オリジナルお花箱とベンチの製作③当地由来の禅寺丸柿 500 本の植樹④『大山道』を中心とした散歩道の策定⑤緑化コンクールの実施を目指します。柿の木台町内全体が近隣地域の『心の里山公園』と成る事が最終目的です。</p>
<p>立地環境</p>	<p>地形・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴見川に向かい傾斜をしている（南高北低）標高は毘叢神社が約 47m、柿の木台交差点は 23m となだらかな坂が多い地域です。 ・ 大山道を東に位置し、北から南へ縦断し谷本川（鶴見川）へ到達します。 ・ 文学的には佐藤春夫著の「田園の憂鬱」の舞台でもあります。 ・ 宅地造成が行われた 40 数年前は、多くの古墳群、柿・栗畑・雑木林・竹林、田んぼを多数有する昔ながらの里山でした。櫛並木の道路を隔て東南側に 1.4hr の面積を持つ、『もえぎ野ふれあい樹林』があります。第一種低層住宅地域で良好な住環境が保持されています。町内はコンクリート等の擁壁が多く、63ヶ所の三方辻（アイストップ）が存在し美観・緑化上利用価値が非常に高いと言えます。
<p>計画の効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 落葉集め活動：櫛やもみじ葉楓並木の落葉を堆肥化する為に行う落葉収集活動は、まち並みの美化に寄与し、循環社会への啓蒙となり、人々のコミュニティーの場となります。 ② 植栽活動：コンクリート擁壁等に植栽を施し、緑を馴染ませる活動は、人々を外へと誘い健康をもたらします。 ③ 散歩道：美しく植栽されたまち並みは、人々に安らぎと潤いを与えます。 ④ 禅寺丸柿植栽活動：当地由来の柿の植栽はまち並みに新たな景観を与えます。樹の手入れや収穫はコミュニケーションの共通の核となります。（500 本） ⑤ 講師講演やワークショップ：人々にとって豊かな情報源となります。共通の興味は新たなコミュニティー形成に繋がります。 ⑥ ①～⑤の活動をサポートするボランティア『みどりのご用聞き』は、地域に密着した、よりよい仲間づくりの場となります。

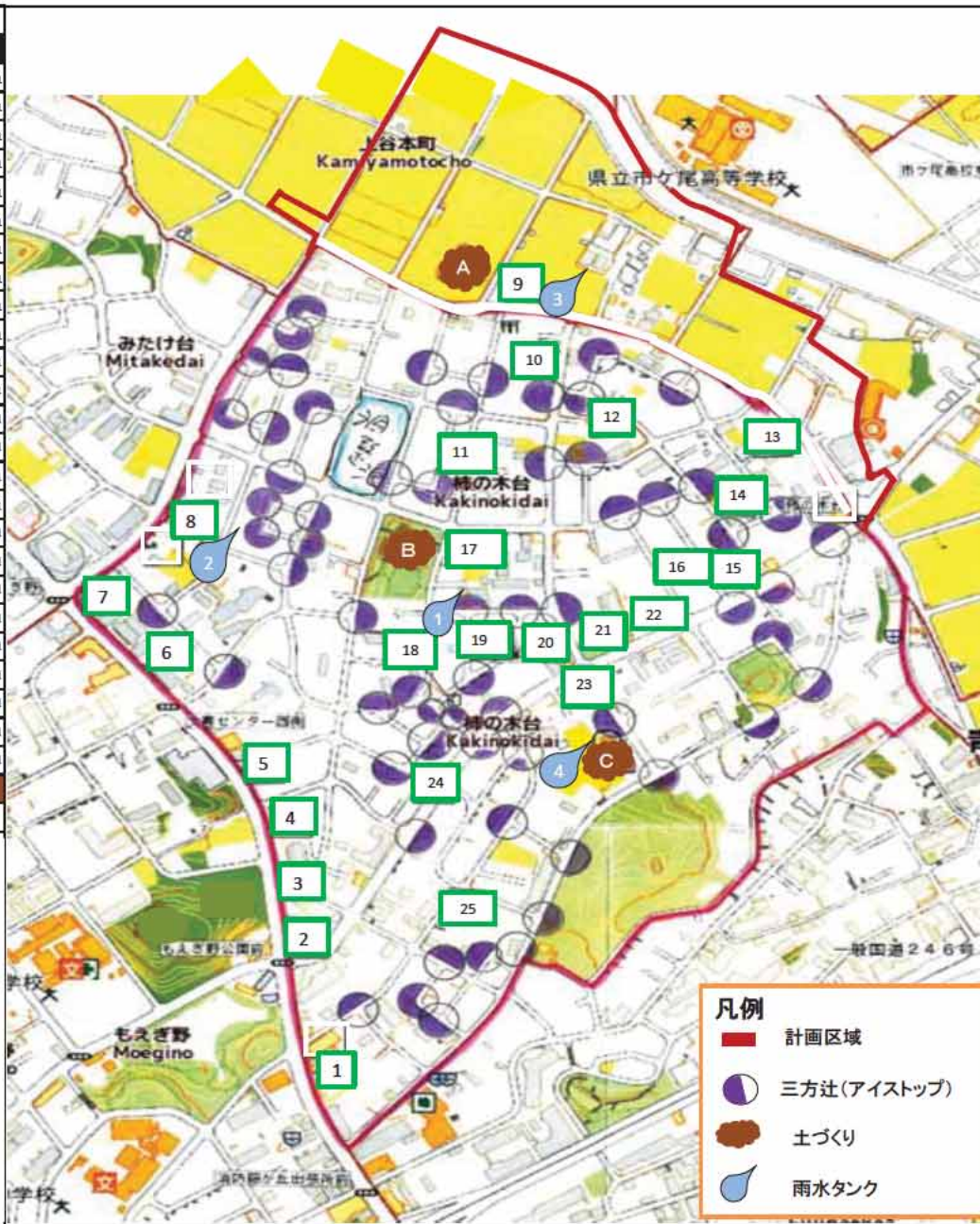
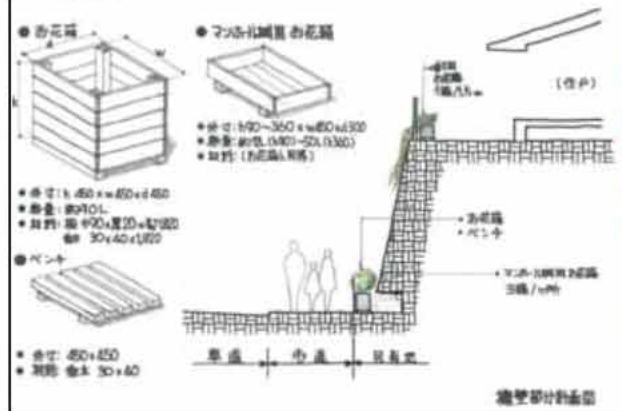
<p style="text-align: center;">計画期間中の 仲間づくり・資金</p>	<p>計画期間中の仲間づくり</p> <p>住民アンケートを早期に行い、分科会を創設し、興味を共有出来る仲間づくりを行います。</p> <p>1、仲間づくりの為の施策</p> <p>①講演は、『土づくり』『柿の木台の歴史について』『花壇作り方』『家庭菜園やハーブの育て方』等を毎年開催②ワークショップは、『絵地図づくり』『ガーデニング』『フラワーデザイン』『バケツの稲』を適時開催③地域緑の写真展を年度毎に開催。</p> <p>2、これを実現する為のマンパワーについて</p> <p>④柿の木台公園愛護会、環境事業推進員、子ども会、柿の木台クラブ、町内会等の各種団体の協力を仰ぎ、併せて広報誌等で参加者の公募を行います。⑤分科会を創設し情報発信して人々の『地域緑のまちづくり』計画への理解・興味・関心を促し仲間づくりを行います。⑥近隣で環境保護活動をしている団体等と共同で催事を行います。⑦褒章を設定し受賞された方には『柿の木台 緑の指導員』として、人々に緑の楽しさを伝え乍ら共に仲間づくりに参画してもらいます。</p> <p>資金の捻出方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、住民に金銭の負担にならない計画の立案を行います。 ・止むを得ず、個人負担金発生となりうる場合には、必ず、事前に、事業計画の目的を十分に説明し、納得・合意の上、費用の分担をお願いします。
<p style="text-align: center;">計画期間終了後の 仲間づくり・資金</p>	<p>計画期間終了後の仲間づくり</p> <p>上記計画期間中の仲間づくりに加えて、下記の施策を行います。</p> <p>①無農薬野菜の栽培及び試食会</p> <p>②各種講座上級者向けを開催</p> <p>③各分科会を継続</p> <p>④散歩道の策定</p> <p>計画終了後の資金捻出</p> <p>レディーメイド・オーダーメイドの各種製品の製作と販売を行い資金捻出を図ります。</p> <p>例としては、コンポスト、循環堆肥、バケツの稲（バケツ田んぼ）、手作り雨水タンク等です。</p>
<p style="text-align: center;">創意工夫</p>	<p>地域循環社会を考慮し、地域風土を鑑み地産地消の観点から、農薬を一切使用しない堆肥の自作、街路樹の落葉や家庭の生ごみ集めて堆肥を作ります。お花箱やベンチは坂道の途中に設置し、休憩所としても利用できるようにすることで、高齢者が気軽に外出出来るようになります。またお花箱やベンチは、横浜市の水源地林などの間伐材の利用を進めます。保育園の『お花箱』には、園児に『絵』を描いてもらいます。</p> <p>地域の歴史的な大山道を起点に、(歴史散策、自然ふれあい並木散歩等) 散歩道を作ります。擁壁には、もえぎ野ふれあい樹林の間伐材を利用し緑化コンクール等を行います。また、柿の木台の由来で有る『禅寺丸』500本を植え彩の美しい景観を造ります。</p>

計画年次	計 画 内 容
<p>1年度目 (平成 26 年度)</p>	<p>○民有地緑化（町内の主要ポイント約 21 カ所の緑化活動開始）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花箱製作、設置 ・雨水タンクの設置 3 か所 <p>○地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会：土の作り方講座を 3 回（2 月、3 月）予定 ・苗木の準備：禅寺丸柿（50 本）植樹・アンケート調査 1 回 ・広報誌〈仮称・伝心緑（でんしんりょく）〉の作成配布 創刊号 ・町内の人々へ「土づくり、人づくり、まちづくり」についての説明会を実施 <p>※その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分科会の設立・枯葉収集、生ごみの堆肥化・散歩道の設定準備
<p>2年度目 (平成 27 年度)</p>	<p>○民有地緑化（町内の主要ポイント約 21 カ所の緑化活動継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花箱作成指導、設置 ・雨水タンクの設置 1 か所 ・温室の設置（花苗の育成） <p>○地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・擁壁コンテスト（グリーンアワード）・講演会・講座：土の作り方、植栽の方法、花壇づくり、絵地図作り、ハーブの育て方、フラワーデザイン等 6 回（4, 5, 6, 9, 10, 11 月）開催 ・緑の写真展 1 回（10 月）開催 ・地元団体とのコラボイベント 1 回（8 月）開催 ・広報誌作成配布 年 2 回（4 月、9 月）発行 ・苗木の準備：禅寺丸柿（200 本）植樹 <p>※その他（1 年目の活動に追加して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『みどりのご用聞き』設立
<p>3年度目 (平成 28 年度)</p>	<p>○民有地緑化（町内の主要ポイント約 21 カ所の緑化活動完了）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花箱作成指導、設置 <p>○地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演・講座：上級編実施 6 回開催 ・柿の木台散歩絵地図印刷 1,000 部・配布 ・苗木の準備：禅寺丸柿（250 本）植樹 <p>※その他（1 年度目、2 年度目の活動に追加して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『みどりのご用聞き』のレベルアップ・『大山道サミット』
<p>計画期間 終了後</p>	<p>緑化推進団体を柿の木台町内会の下部組織として編入し、町内の緑化活動・管理の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花の苗、種の育成 ・腐葉土、堆肥製作 ・講演会（植栽の方法、花壇づくり、お花箱作成指導） ・街路樹の落葉と家庭生ごみを利用した堆肥作り、土づくり ・レディーメイド・オーダーメイドの各種製品の製作と販売（コンポスト、循環堆肥、バケツの稲＝バケツ田んぼ、手作り雨水タンク等）

凡例表		●植栽	■擁壁
NO	植栽	長さ	擁壁 高さ
1	某施設	● 15m	/ 0m
2	もえぎ野公園前交差点	● 20m	/ 0m
3	クリエイト	● 15.3m	/ 0m
4	ゼネラル石油	● 24.4m	/ 0m
5	郵便局の前	● 5m	/ 0m
6	もえぎ野の杜	● 22m	/ 0m
7	某店舗	● 4m	/ 0m
8	M邸	● 10m	/ 0m
9	K邸	● 30m	/ 0m
10	EMアパート	● 16.3m	■ 2.5m
11	36番地先	● 85m	■ 3m
12	お稲荷さん	● 25m	■ 2m
13	コートマンション	● 4m	■ 20m
14	Tマンション	● 32m	■ 5m
15	S邸	● 12m	■ 4m
16	I邸	● 12m	■ 4m
17	ハイツT	● 49m	■ 3m
18	Y邸	● 21.7m	■ 5m
19	U邸	● 7.5m	■ 4.5m
20	茶屋	● 9m	■ 1m
21	医薬神社	● 15m	/ 0m
22	桐蔭学園あかね寮	● 82.3m	/ 0m
23	黄泉の園	● 64m	■ 4.8m
24	バス停付近	● 8m	■ 1.5m
25	柿の木台保育園	● 41.3m	■ 3m

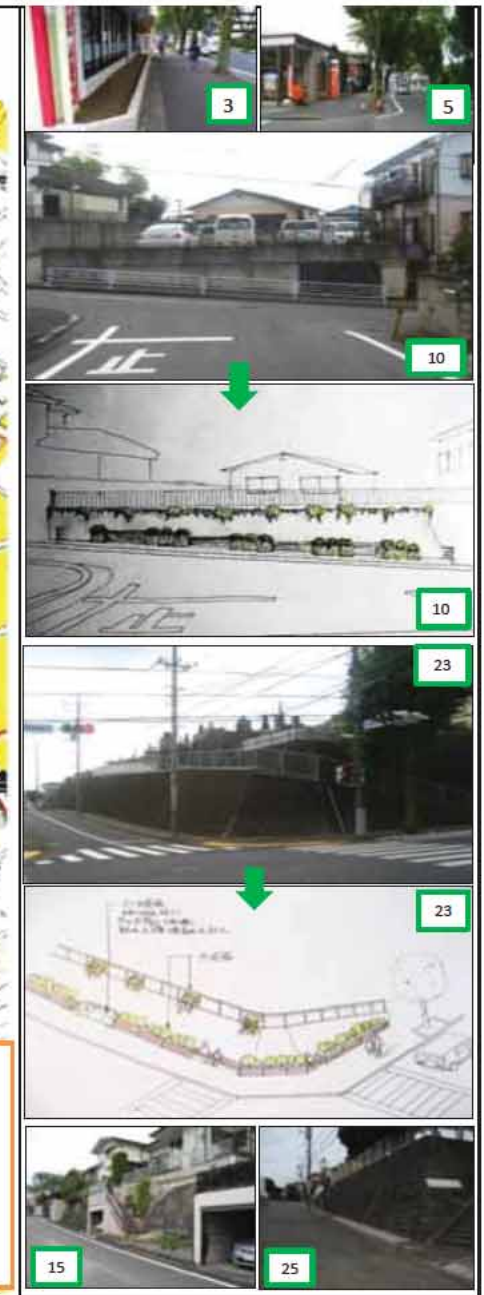
土づくりの場所

● A畑 B第一公園、C町内会館前



凡例

- 計画区域
- 三方丈(アイストップ)
- 土づくり
- 雨水タンク



概算事業費（単位：千円）^(注1,5)

助成項目	細目	1年度目（平成26年度）	2年度目（平成27年度）	3年度目（平成28年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	360	240	240	840	100%以内	
		お花箱等実施設計	お花箱等実施設計	お花箱等実施設計			
1 民有地緑化	②緑化整備等経費 (注2)	3,635	3,705	3,759	11,099	90%以内	
		ベンチ付きお花箱製作・設置 擁壁上部お花箱製作・設置 雨水タンク設置	ベンチ付きお花箱製作・設置 擁壁上部お花箱製作・設置 雨水タンク設置	ベンチ付きお花箱製作・設置 擁壁上部お花箱製作・設置			
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内	
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)	
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/ 本)
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/ 本)
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	380	310	95	785	①～④の合計 1,000千円以内 /年度	100%以内
	②広報・研修費	480	550	765	1795		100%以内
	③事務費	100	100	100	300		100%以内 (上限100千円/ 年度)
	④諸雑費	40	40	40	120		100%以内 (上限40千円/ 年度)
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)		4995	4945	4999	総合計 14939	1～3の合計5,000千円以内/年度	

- (注意事項)
- 注1：概算事業費（予定金額）は、計画の助成金と自己負担金を含めた額となります。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）となります。
 - 注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）
 - 注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
 - 注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は1年度につき5,000千円が助成金額の上限となります。（3年度総合計の助成金額の上限は、15,000千円です。）
 - 注5：概算事業費は、千円単位となります。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）
 - 注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
 - 注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
 - 注8：上限内での年度ごとの項目間、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（28年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）